

# 代表質問

## 会 栄 笠

質問者 妹尾博之  
メンバー 石田英人  
大本益之

揺るぎない笠岡の創生について

**議員** ①市内の空き家提供状況とこれの活用状況についてたずねる。

②まちづくり協議会の組織と用務についてたずねる。

③道の駅の現在までの進捗状況と、平成22年度の具体的な予定についてたずねる。

**市長** ①定住促進センター専用ホームページに空き家情報を掲載している。その結果、現在、6件の提供があった中で5件について入居が決定または契約中という状況になっている。市外からの転入が3世帯で7人、市内転入が1世帯で4人の予定である。物件も残り1

件となり、空き家情報提供が少ないので、現在、空き家現地調査を実施中である。今後、掲載物件を随時増やしていく予定である。

②地域で生活する幅広い階層が参加するまちづくりを進めるために、まちづくり協議会のメンバーも若者や女性を初め地域で活躍する各種団体が参加できるように配慮する必要があると考えている。用務としては、地域のまちづくりを考える主体として、地域の状況の把握や調査、まちづくりの方向などの検討や、地域課題の主体的な解決と地域の特徴を生かしたまちづくりを担っている。まちづくり協議会は、平成24年4月を目標に全地区に設置していく。③平成22年4月に事業者の募集を行い、7月には事業者を決定する。そして、市議会で議決後、契約を締結し、建築物の工事に着手する。平成23年4月オープンを目指していたが、少し遅れて7月ごろの予定である。



「国民文化祭・おokayま2010」への取り組み状況について

**議員** 今年の10月から11月にかけて「国民文化祭・おokayま2010 あつ晴れ！おokayま国文祭」が開催される。本市では、盆踊りフェスティバルと能・狂言フェスティバルの2つの主催事業を行うことになっている。

現在の段階で、市の事業規模や内容などはどこまで具体的に決定されているのか。また、実行委員会や企画委員会は今後どのような進んでいくのか。

**市長** 市全体のテーマは、「よっちゃやれ！かさおか国文祭」である。2つの事業それぞれに企画委員会を立ち上げて、具体的内容について協議いただいている。

盆踊りフェスティバルのサブテーマは「伝統の心をはぐくむ踊りの輪」として、全国及び県内の代表的な盆踊りの競演、交流」と「市内の盆踊りの振興や継承等」を目的として、10月31日に笠岡市民会館を会場に実施する。また、能・狂言フェスティバルのサブテーマは「心より心へ伝う幽玄の花」と位置づけている。第1部が全国の能楽愛好者による発表、第2部をプロの能楽師による模範演能という構成で、11月7日に笠岡市民会館で実施する。これに関連した行事としては、案の段階だが、市内盆踊りの写真展とか紹介展、そして能装束の展示、能面の展示、屋外のおもてなしテントブースなどを考えている。